

# 沼津市国民健康保険データヘルス計画(案)の骨子

## 第1章 計画の基本的事項

近年、特定健診の実施やレセプトの電子化の進展等により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいる。

また、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「すべての健康保険組合にレセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として『データヘルス計画』の作成・公表・事業実施・評価等の取組を求めるとともに市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされた。

### 【計画の目的】

レセプト・健診情報等のデータを活用し、被保険者の健康保持増進等を図る。

●本計画の策定にあたっては、「第4次沼津市総合計画」「沼津市健康増進計画」「沼津市国民健康保険医療費適正化計画」等の関連計画と整合性を図るとともに、「第2期沼津市国民健康保険特定健康診査等実施計画」と一体的・総合的に推進していく。

●計画期間は、上記関連計画の「医療費適正化計画」及び「第2期特定健康診査等実施計画」との整合性を図り、平成28年度から平成29年度までの2年間とする。

## 第2章 現状分析と課題

	現状	課題
健診データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定健診受診率は36.1%と毎年微増しているものの、目標値には達していない。特定保健指導実施率は21.0%と横ばいであり、目標値には達していない。(H26法定報告値)</li> <li>●健診結果から、血圧・血糖・脂質の有所見者は半数以上で、特に肥満者及びLDLコレステロール値が高い人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特定健診受診率及び特定保健指導実施率が低迷しており、未受診者の健康・生活習慣の状況が把握できていない。</li> <li>②循環器系をはじめとする生活習慣病関連(※)の医療費が高く、また血圧・脂質の有所見者が多いことから、治療・未治療者ともに生活習慣病該当者・予備群が多く潜在する。</li> <li>③腎不全患者の負担が大きく、その中でも透析患者の主原因となる糖尿病性が多いため、糖尿病性腎症の対策が必要である。</li> <li>④40歳からは既に生活習慣病を発症しているため、さらに若年世代からの予防対策に取り組む必要がある。</li> </ul>
医療費データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●入院・入院外とも医療費は循環器系の疾患が最も高く、国・県計より高い。中分類による疾病別医療費では腎不全、高血圧性疾患、糖尿病の順に高い。</li> <li>●40歳から「循環器系」「泌尿路生殖器系」「内分泌・栄養及び代謝」の疾患が上位に定着している。</li> <li>●高額レセプトの要因となる疾病では腎不全が最も高く、透析患者の9割は生活習慣病を起因とし、その約8割が糖尿病性である。</li> <li>●健診未受診者の生活習慣病1件当たり医療費が高額であり、特に動脈硬化が高い。(しずおか茶っとうシステム)</li> </ul>	
介護データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●要支援・要介護認定者数は年々増加し、第1号被保険者数のうち14.5%を占めている(H26介護保険事業状況報告)。</li> <li>●介護保険第2号被保険者の特定疾病別要介護認定者割合において、脳血管疾患の罹患率が約61.0%を占めている。(H26介護保険課調べ)</li> </ul>	
その他定量的データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●死亡割合(H25)は悪性新生物、脳血管疾患、心疾患の順である。(H26沼津市統計書)</li> </ul>	

## 第3章 目標値の設定と今後の取組

### 【目指すべき方向性】

個人の生活習慣の改善及び被保険者の健康支援に資する環境の整備を通じて、生活習慣病の発症予防・重症化予防に取り組み、生活の質の維持及び向上等を図る。

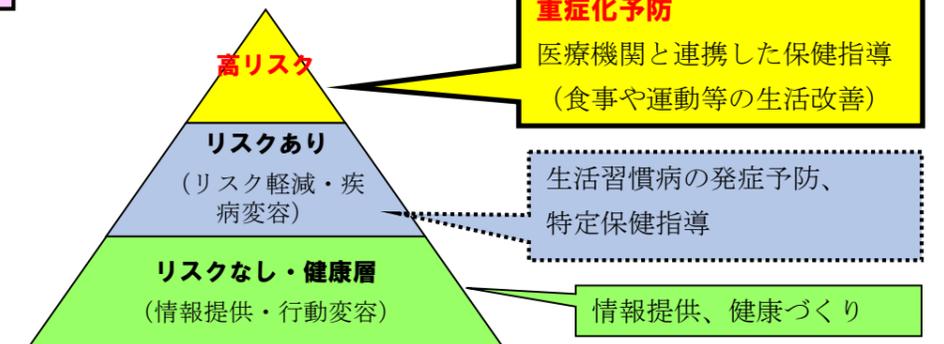
### 【平成29年度目標値】

◆特定健康診査受診率	60.0%
◆特定保健指導実施率	60.0%
◆メタボ該当者の割合	15.2%
◆メタボ予備群の割合	9.7%
◆脂質異常者の割合 (LDLコレステロール値140mg/dl以上)	31.0%
◆血糖異常者の割合 (HbA1c値6.5%以上)	6.1%
◆高血圧者の割合 (血圧I度 140/90mmHg以上)	24.0%

## 第5章 計画の推進

●既に実施している保健事業及び介護予防事業と共通認識をもち、沼津医師会をはじめ、沼津歯科医師会、沼津薬剤師会、各種関係団体と情報を共有し、役割分担・連携強化による効率的な事業展開を図る。

●計画は最終年度となる平成29年度に、PDCAサイクルに沿って計画に掲げた目的・目標の達成状況の評価・見直しを行う。



すべてのリスク群に対し、生活習慣病対策を推進する。

## 第4章 事業内容

### 【事業内容】

- 特定健康診査・特定保健指導事業
- 生活習慣病重症化予防事業  
糖尿病性腎症重症化予防事業、健診異常値放置者受診勧奨事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業、特定保健指導対象外のハイリスク者への保健指導、生活習慣病重症化予防個別指導
- 生活習慣病予防・健康増進事業  
生活習慣改善のための健康づくり教室、出張健康度測定・健康相談事業等
- 早期介入保健指導事業  
40歳未満の健康診査及び保健指導、人間ドック30歳代への保健指導
- がん検診受診率向上対策
- 医療費適正化対策  
ジェネリック医薬品使用促進事業、受診行動適正化指導事業

(※)生活習慣病に起因する疾病は、主としてがん、循環器疾患、糖尿病がある。不適切な生活習慣が引き金となり、肥満、血糖高値、血圧高値、動脈硬化症から起こる虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等で、保健指導により発症や重症化が予防できるものをいう。